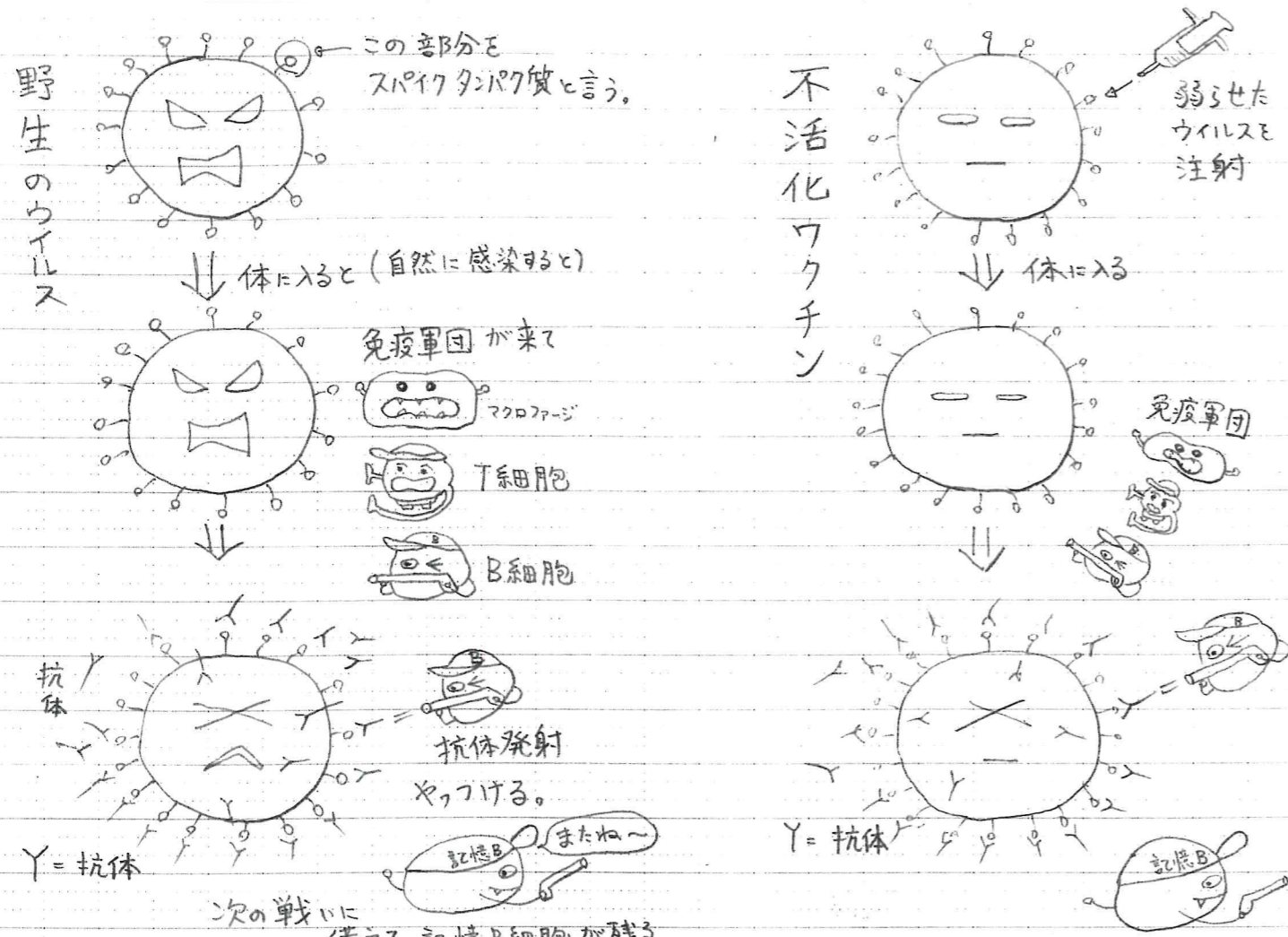
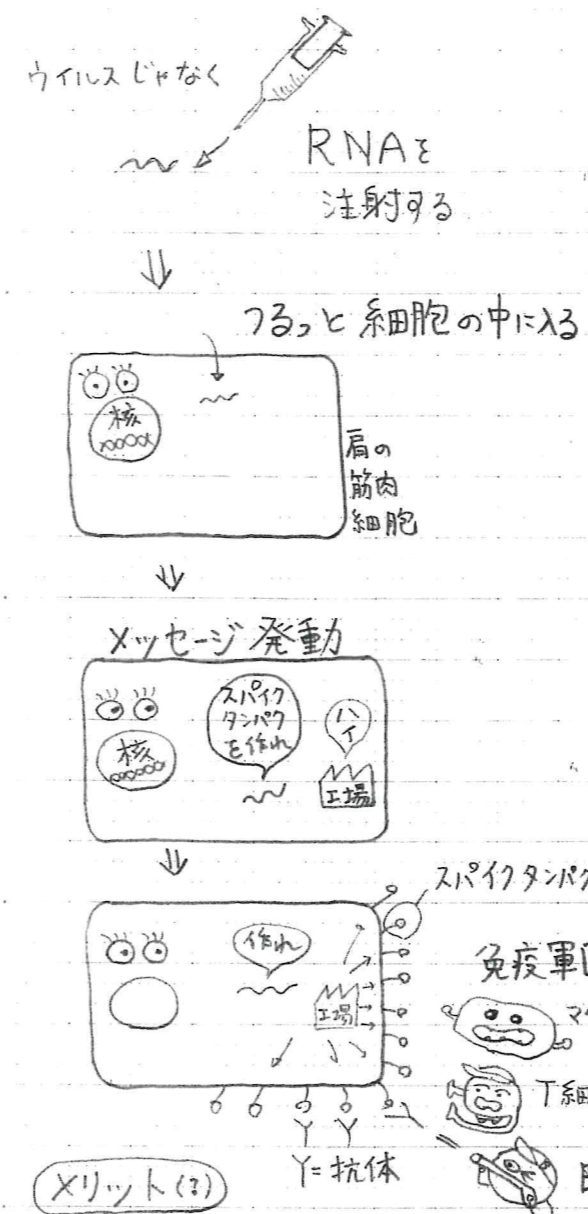


免疫のしくみ (ざっくり)



メリット ウイルスに合った抗体ができる。
 ウイルスのスパイクタンパク質以外の所にも
 効く抗体ができる。= ウイルスの変異しても効く。
 (交叉免疫がある。とか日本人は77-X持ってる) 作る。この先向か流行るか。
デメリット 野生のウイルスが強毒性の時、危険。(弱毒の時は大丈夫) 変異激しいのには...

では、今回の mRNA ワクチンのしくみ

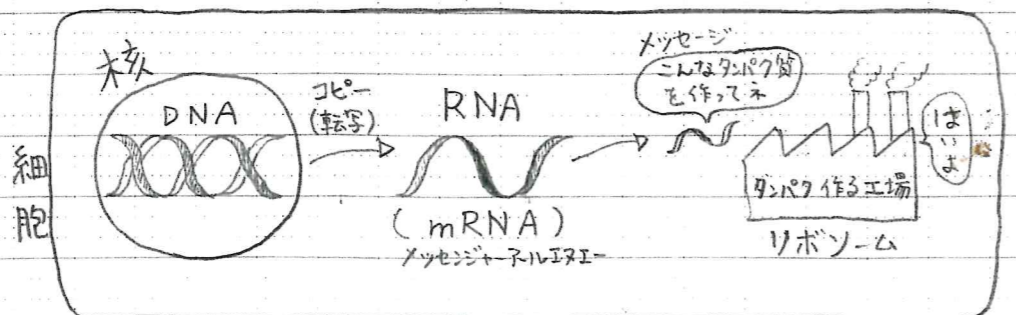


デメリット
 この mRNA はつると細胞に入る。
 血流に乗って体中に行く。色々な
 細胞に入って行く。
 心筋・卵巣・副腎...
 本来の mRNA はすぐ壊れるが、
 細工して壊れにくくしてある。
 ウリジン(U)を、N⁴-メチルシトウリジン(m⁴C)
 に置換してある。長持ちする...
 スパイクタンパク質に対して、
 この免疫軍団を作ったら、それで終わりでもいいのに、
 60日以上も
 ずっとスパイク
 タンパク質を
 作り続ける。とか。
 免疫軍団が自分の細胞と
 攻撃し続けてしまう。自己免疫疾患。
デメリット 裏面にフグく。

メリット(?)
 ・ウイルスを使わずに済む。
 ・スパイクタンパク質に対する抗体ができる。

基礎知識

細胞の中で
 タンパク質が
 つくられる仕組み



例え話し → 核は図書館。DNAは設計図。RNAは設計図の一部の手順書(メッセージ)。(30億ページ)

基礎解説

私たちの体を構成している物質はタンパク質。
 タンパク質がないと生物は生きていけません。
 タンパク質を作っているのは細胞の中のリボソームという所。
 どんなタンパク質を作るか? どんな体を作るか? ということは、
 DNA(遺伝子)に書いてます。DNAは両親からもらいます。(1対1)
 RNAはメッセージを伝えて必要な量のタンパク質ができると、消える。(壊れる)
 RNAがずっと残っていると、タンパク質がずっとでき続けてしまう。X

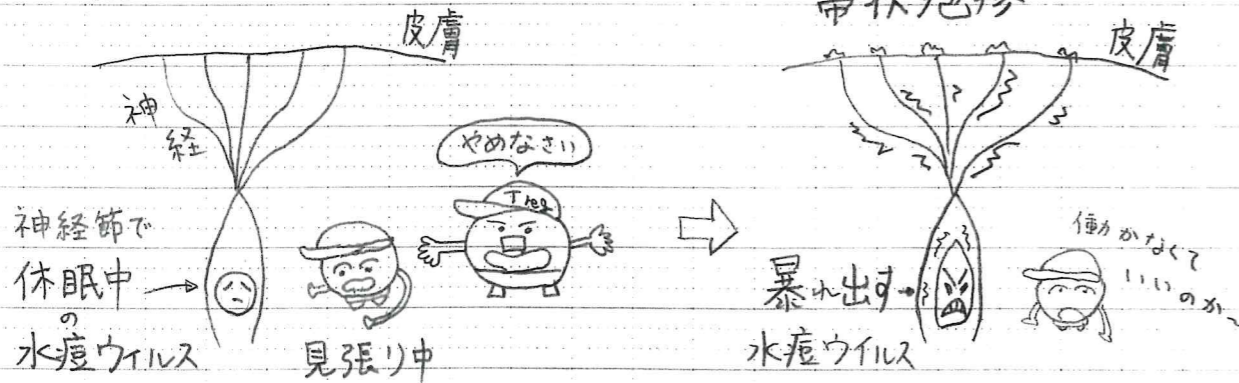
今回の mRNA ワクチンでは 制御性T細胞が増える

regulatory T cell (Treg)
レギュラトリー T-セル



デメリット Treg が増えると体の免疫力が下がる

例えば、



他に、ノロウイルスにかかりやすくなったり、コロナにかかりやすくなったり、

がん細胞が増えるのを見張らなくなれば癌に...

病気になりやすい体になる。(打てば 打つほど)

2回でやめとけば大丈夫。

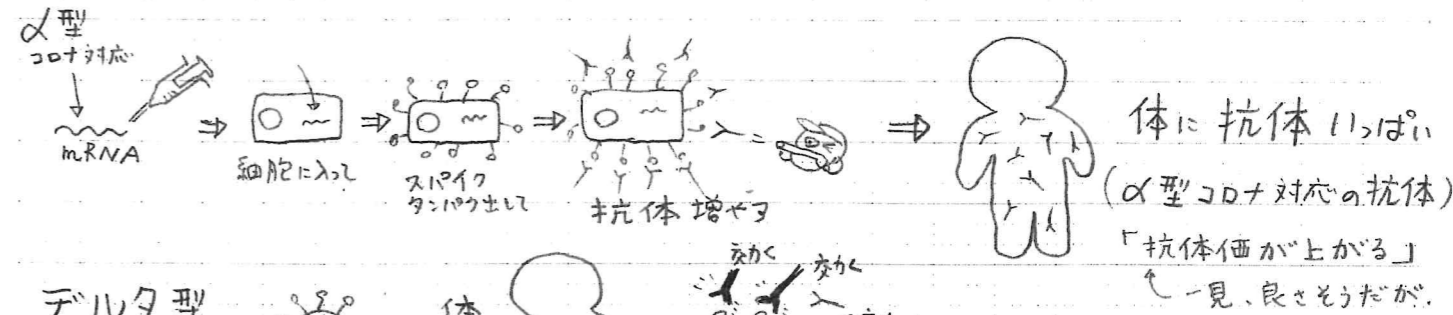
この紙で伝えたいこと。

- 流れてくる情報に身を委ねて思考停止するのではなく考えよう。
- 安易に信じず自分で調べて判断しよう。この紙に書かれている事も疑おう。
- 勝手に入ってくる情報だけでなく自分から動いて情報を取り、参考にしよう。

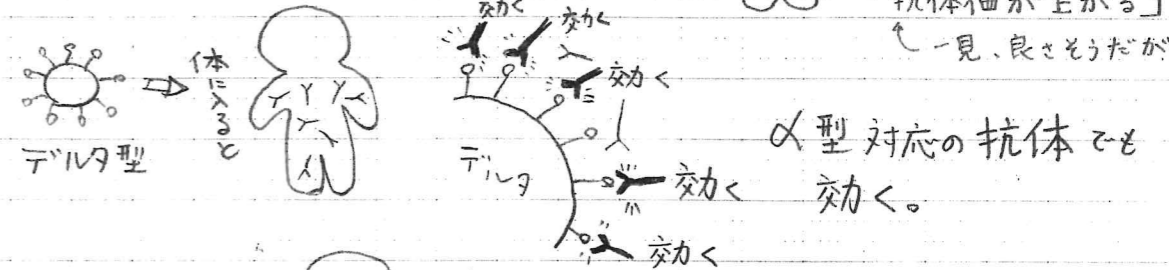
3回目打つと ADE になる 確率が上がる

抗体依存性免疫増強
antibody-dependent enhancement

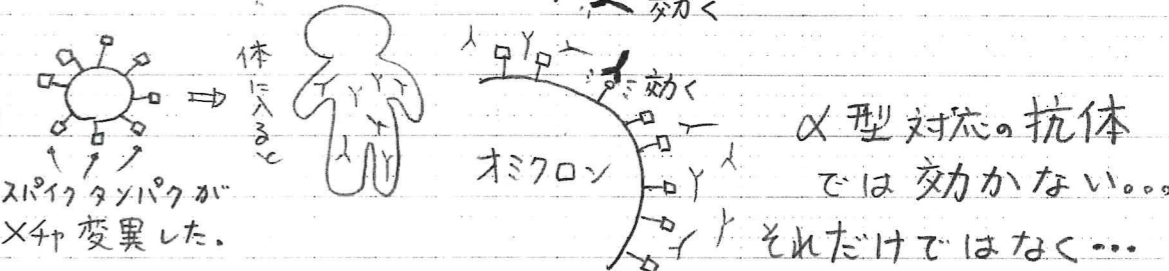
mRNA ワクチンと打つと



デルタ型
までの時代



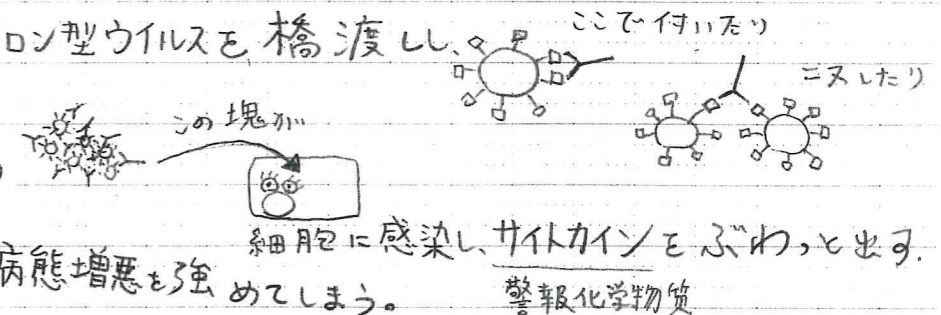
オミクロン型
の時代になり



効かない抗体が オミクロン型ウイルスを橋渡しし、

抗体+ウイルス複合体となり

合わない抗体が悪化して病態増悪を強めてしまう。



- ワクチン打つ打たないは自由。分断、差別するのではなく、共同の精神で寄り添おう。
- 打つ、打たないの決断だけではない。柔軟に「様子見る」ことも選択肢に入れよう。
- 打った人も打たなかった人も仲良く一緒に生きていきましょう。
- 世間体で判断するのではなく、自分の体の中に入れる必要があるかないか、判断しよう。